

授業科目 機能看護学特論Ⅱ		科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 1 年 後期
科目責任者	大関信子		
担 当 者	上泉和子、鄭佳紅、角濱春美、木村恵美子、福井幸子、大関信子		
1. 科目のねらい・目標 様々な対象のニーズに対応する看護技術や看護ケアシステムの課題に対して科学的・理論的根拠に基づく看護技術や看護ケアシステムの開発、看護手法の確立のための方法を探求する。			
2. 授業計画・内容 【上泉和子・鄭佳紅】 看護管理に関する研究課題について、学習した諸概念や諸理論を基盤として、関連組織や地域における演習（フィールドワーク）をもとに組織分析を行い、課題解決のための方策を検討する。 【角濱春美】 看護技術の実証や確立のために必要な看護研究について探求するための概念を構築するために、概念分析、または系統的レビューを行う。自らのテーマについてなにがどこまで明らかになっているのかを検討し、研究に関わる問題点を討議して深める。 【木村恵美子】 多様なホリスティックナーシングの中から、もしくは自らの研究テーマに関連したケア方法の科学的・理論的根拠を明らかにし、研究手法の課題や自らの研究テーマの方向性を検討する。 【福井幸子】 国内外のガイドラインにある理論的根拠等から得られた包括的な問題解決方法を臨床の現場と照合して課題を明らかにし、有効な看護技術や看護ケアシステム確立のための方法を探求する。 【大関信子】 女性のライフステージごとの健康課題に対して、EBM/EBNを基盤とした支援方法を、倫理的配慮や社会資源、政策も含めてケアシステムの開発について検討する。			
3. 教科書、参考書 各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。			
4. 成績評価方法 小論文で評価する。			
5. 受講要件 看護師の資格を有すること。			
6. 社会人学生に対する配慮 講義の日時は担当教員と相談して決めることができるように配慮する。			
7. その他 担当教員に事前に連絡を取り、課題等の指示を受けること。			